## 会報高紫の文化財

第63号 令和5年9月13日発行 高鷲文化財保護協会 題字:麦島 博昭 氏

## 長野県の「満蒙開拓平和記念館」視察見学

令和 5 年 9 月 6 日(水)に高鷲開拓記念館主催、高鷲文化財保護協会共催の阿智村「満蒙開拓記念館」を研修した。

満蒙開拓平和記念館は、長野県下伊那郡阿智村駒場にある博物館です。 旧満州 (中国東北部) に入植した満蒙開拓団の苦難の歴史を伝え、平和の尊さを次世代に語り継ぐために設立された、満州移民史を扱う日本で唯一の民間施設です。

同館は、設立を立案・主導した「飯田日中友好協会」の事務所としても利用されており、また 2019 年に団体学習用のセミナー室や映像室などが新設され、施設が拡充されています。その概要は、長野県(殊に下伊那地方)は、その人口支持力を大幅に上回る農村の人口過剰と口減らしの必要性により、満蒙開拓移民を国内で最も多く送り出した地域であるが、開拓団員経験者の高齢化が進む中、開拓の背景と実情、また敗戦後の引揚げの苦しさを伝える全国初の施設として開設されました。中国残留孤児の帰国に尽力した阿智村の僧侶・山本慈昭氏の活動を伝える資料も展示してあります。

建設の経緯は以下のようになっています。

- ・2006年(平成18年)-7月に同施設の建設事業が日中友好協会傘下の地方組織支部「飯田日中友好協会」の第44回定期大会で採決される。
- ・同年12月、村井仁長野県知事に協力要請等を陳情。
- ・2007年(平成19年)-2月に建設準備会を組織、建設資金・寄付金集めに着手。
- ・2009年(平成21年)-4月に建設予定地440坪の貸借契約を阿智村と締結。
- ・同年6月に長野県議会の各会派へ協力要請を行う。「山本慈昭記念館」との統合を同年11月に合意した。
- ・同年12月、民主党の小沢一郎幹事長に協力要請等を陳情。
- ・2010年(平成 22 年)- 2 月に一般社団法人の認可を取得。長野県の元気づくり支援金事業の補助を受けて、阿智村で「満蒙開拓歴史展」を開催。
- ・同年11月 民主党本部(幹事長室)を訪問し協力を要請。
- ・2011年(平成23年)-11月に南信州広域連合が記念館への財政支援を決定、長野県知事へ支援を要請。
- ・2012年(平成24年)-2月に南信州広域連合議会が4,500万円を予算として議決、
- ・同年3月長野県議会が4,500万円の予算を議決、野田内閣下で林野庁が「木造公共建築物等の整備事業」として3,000万円の交付決定した。
- ・2013年(平成25年)-4月に満蒙開拓平和記念館が開館。
- ・2019年(令和元年)-9月に団体学習の場として約120人収容のセミナー室並びに映像室などを完備した「セミナー棟」が竣工。
- ・同年10月に長野県日中友好協会の理事長・事務局長などを招いて、セミナー棟竣工の記念式典を開催。
- ・2016年(平成28年)に明仁天皇と皇后美智子(いずれも当時)が行幸。翌年平成29年には天皇・皇后の来 訪を記念した碑を建立した。

このように満蒙開拓記念館として歴史と実績のある同館を、私たち高鷲文化財保護協会は「高鷲開拓記念館」創設するために平成27年10月30日に参加者20名で研修した。開拓平和記念館では、館内をボランティアの方の

平成27年の秋の日帰り研修



説明を受け、大変充実した研修で、高鷲の開拓記念館の参考になるとの感想でした。上の写真はその時の懐かしい写真です。

平成 28 年 4 月 24 日(日)に、日置郡上市長、谷下川町長を迎え、高鷲開拓記念館がオープン した。岐阜県には、民具を展示してある博物館は多くあるが、開拓に特化した博物館はなく 「たかす開拓記念館」が、満州開拓、北海道開拓、戦後のひるがの開拓、上野開拓、明野開 拓など高鷲町民の拓く力のすごさを展示してある。 また令和4年度から毎週水曜日に「高鷲町民センターの日」「開拓記念館の日」を設け、

講演会・ビデオ鑑賞・意見交換・昔の写真展示などを行っている。

今回は、開拓記念館主催の開催日で、長野県満蒙開拓記念館の視察見学となった。当日 は朝から土砂ブリの雨で、参加者 5 人が振興事務所前に集合し、振興事務所のマイクロバスで出発した。10 時 30 分頃阿智村の満蒙開拓平和記念館に到着、早速入場料を払って入館、すると展示方法が平成 27 年の時と大きく変わっており、10 月の高鷲開拓記念館の模様替え(ビジュアル化・映像化・文字の省略化など)の参考になった。

最近の博物館の展示方法は、ビデオを使った映像提供が主流と思われる。

私たちは、12時30分に昼食を取り、15時30分に全員高鷲振興事務所前に着いた。

## 「お疲れ様でした」





満蒙開拓平和記念館前で記念撮影(20023.9.6 撮影)

次回の秋季日帰り研修は10月17日(火)に、大河ド ラマ「どうする家康」の舞台になった関ヶ原古戦場博 物館を予定しています。

皆様のご参加をお待ちしています